

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	1 DXの推進（1）内部事務の効率化
取組内容	・国のDX推進計画の進捗状況を注視しつつ、ICTを活用したシステム等の導入によって改善が図られるような事務（会計事務、議事録作成事務等）においては、それを導入し、かつ、適切な運用体制を構築する。 ・国のDX推進計画に定められた標準システムについて、令和7年導入に向けて準備・実施をしていく。 ・技術の導入ありきではなく、各々の職員がどのように活用すれば業務を効率化できるかを精査し、実施していく。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
D X の説明会を実施する。						
R P A の導入		業者選定・構築	導入・実施			
標準システム導入準備		Fit&Gap 調査	機能要件整理	業者選定・構築	実施	
令和 5 年度取組予定						
・昨年度の導入成果紹介を含めたワークショップを開催し、広く庁内での R P A に関する理解促進を行ったうえで、新たに 5 業務を選定し、人材育成を兼ねた伴走型での R P A の導入を行う。 ・システム標準化は、引き続き F i t & G a p 調査や機能要件の整理を行ったうえで、移行計画・仕様書を作成する。						
令和 5 年度取組実績						
・ R P A は、予定どおり新たに 5 業務(シナリオ)を選定し、伴走型で開発を進めたが、担当者の習熟が早く効率よく推進することができたため、対象業務を拡張し 1 3 業務の自動化を行った。さらに導入効果の大きい請求書処理業務を中心とした 4 業務を追加開発した。 ・システム標準化は、 F i t & G a p 調査、 R F I の実施や機能要件の整理及び仕様に含まれない部分の対応方法の検討等を行いつつ、移行計画を作成した。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
A I ・ R P A の導入数	2 業務 R P A 化	12 業務 R P A 化	17 業務 R P A 化			—

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	1 DXの推進（2）各種書類等の電子データ化による効率化とデータの公開
取組内容	・換地図や過年度作成の都市計画基本図をデータ化し、市民がいつでも閲覧できるように市ホームページ等で公開する。 ・要介護・要支援認定における聞き取り調査記録等を電子ファイル化する。 ・その他各種紙媒体の電子データ化を推進する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
都市計画基本図の電子データ化	枚数確認	公開検討			
	順次公開				
要介護・要支援認定における調査記録等の電子ファイル化	情報収集			仕様決定	運用開始
換地図の電子データ化	仕様決定		データ化	公開	

令和5年度取組予定

- ・都市計画基本図について、搭載可能なものからGISシステムに搭載する。
- ・将来の都市インフラ・まちづくりDXの推進のため、令和4年度に整備した3D都市モデルについて、令和5年度に実施する都市計画基礎調査（土地利用現況）に関連するデータの更新を行う。
- ・要介護・要支援認定における聞き取り調査記録等の電子化に向け、近隣市町の動向等、引き続き調査を進める。

令和5年度取組実績

- ・3D都市モデルについて、都市計画基礎調査（土地利用現況）に関連するデータの更新を行った。
- ・要介護・要支援認定における聞き取り調査記録等について、データ化する手法を検討し、膨大な紙資料のデータ化を行う上での課題を抽出した。
- ・紙媒体の換地図の電子データ化を完了した。

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

達成指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
過年度作成の都市計画基本図、換地図の市ホームページ上での公開率	8%	11.5%	11.5%			100%
要介護・要支援認定に関連する書類の電子データ化率	0%	0%	0%			100%

第3 次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5 年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針 1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	2 実施計画、予算編成、行政評価のさらなる連動
取組内容	・事務事業評価の結果を、実施計画及び予算編成において、より効果的に活用する仕組みを確立する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
連動方法の検討						
試行実施						
本格実施						
令和 5 年度取組予定						
事務事業評価の結果を、予算編成及び実施計画により効果的に活用するため、主に以下のとおり評価方法の見直しを行う。 ① 評価対象事業について、実際に支出した直接事業費だけでなく人件費を含めたフルコストに近い数値を把握した上で、評価を行う。 ② 評価対象事業におけるアウトプット及びアウトカム指標について、より適切な指標への見直しを行う。 ③ 評価対象事業を実施計画対象事業のみとし、評価の重点化を図る。また、評価対象外事業については、予算編成段階では経常経費調査、予算執行段階ではインセンティブ予算制度を活用することにより、適宜見直しを図ることとする。						
令和 5 年度取組実績						
評価対象事業を第 2 次実施計画（令和 4 年度～令和 6 年度）に掲載のある 3 5 事業のみとして評価の重点化を図り、直接事業費に人件費を加えたフルコストに近い数値をもとに評価を行った。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
事務事業の改善率（事務事業評価における評価）	40%	15%	45%			60%

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

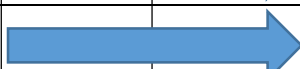
基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	3 入札契約制度の改善
取組内容	・ 施工時期の平準化を推進する。 ・ オープンカウンタを積極的に活用する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
周知（施工時期の平準化・オープンカウンタの活用）					
試行					
本格実施					
令和 5 年度取組予定					
・ 平準化を推進するため、ゼロ債務負担行為の積極的な活用について、発注見通しや 1 2 月補正のタイミングで通知を行う。 ・ オープンカウンタの利用件数や落札率を職員に周知し、利用を促進する。					
令和 5 年度取組実績					
・ 1 2 月補正及び発注見通しの通知の際に、ゼロ債務負担行為の積極的な活用について記載し、施行時期の平準化について周知した。 ・ オープンカウンタの利用件数や落札率を職員に周知し、更なる利用促進を図った。 ・ オープンカウンタを 3 3 件実施した。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
稼働件数に係る平準化率	0.52	0.42	0.61			0.6 以上
オープンカウンタの契約件数	30 件	37 件	33 件			118 件 （5 年間の累計）

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	4 下水道使用料の検証
取組内容	・経費回収率等を基に下水道使用料が適正かどうか検証する。 ・経費回収率の適正化に向けたロードマップを策定する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
検証、検討					
ロードマップ策定					
令和 5 年度取組予定					
経費回収率や財政推計を基に下水道使用料が適正かどうか検証する。					
令和 5 年度取組実績					
・下水道使用料の検証について行政改革推進委員会に諮問し、3 回審議した。 主な内容は次のとおり 第 1 回 下水道事業の概要、使用料検証の必要性 第 2 回 経営改善の取組み、収支及び経費回収率の将来予測、使用料水準の検討 第 3 回 下水道使用状況の分析、使用料体系の検討					

第3 次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5 年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針 1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	5 マイナンバー制度の活用促進と行政手続のオンライン化
取組内容	・ マイナンバーカードを利用した各種証明書のコンビニ発行等行政手続のオンライン化を進めるとともに、休日証明書発行窓口業務の見直しを実施する。 ・ 情報連携による業務の効率化を検討、実施することで、市民が申請する際の添付書類の削減や職員の事務負担軽減を目指す。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
D Xの説明会を実施する。					
27 手続のオンライン化を実施する。		構築 	実施 		
コンビニ交付システムの導入準備	導入準備 	実施（令和3年12月24日から） 			
コンビニ交付・休日証明書発行窓口の利用状況を調査					
休日証明書発行窓口業務の見直し			検討 	実施 	

令和5 年度取組予定

- ・ 手続きオンライン化に関して、残りの3手続きを実施する。また、マイナンバーカードと連携した施策については、デジタル田園都市国家構想交付金（マイナンバーカード利用横展開事例創出型）の採択事業のうち、スマート窓口システムの導入を行う。
- ・ コンビニ交付に関して、交付手数料を減額し、証明発行業務の見直しを始める。

令和5 年度取組実績

- ・ 令和4 年度に引続き、3 手続きのオンライン化を行った。また、令和6 年3 月に LINE 公式アカウント上で法律相談窓口等の7 つの予約を LINE から行えるようにした。
- ・ マイナンバーカード連携施策については、日進市民カード化構想としてスマート窓口を含む5 事業を推進した。
- ・ コンビニ交付に関して、交付手数料を減額し、証明発行業務の見直しを行った。

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
マイナンバーカードと連携した施策数	1	1	6			2 つ
オンライン申請ができる手続数	10	24	34			現状から5 つ増やす

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	6 国民健康保険税の安定的な確保
取組内容	・本市の保険税率が標準保険料率に到達するよう、計画的に保険税率の見直しを行う。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
保険税の見直し					
国保運用基金の活用					
令和 5 年度取組予定					
・ 令和 6 年度保険税率の見直しを行う。 ・ 国保運用基金の活用により、赤字補填目的の一般会計法定外繰入金を解消する。					
令和 5 年度取組実績					
・ 国保運用基金を活用し、令和 4 年度から継続して赤字補填目的の一般会計法定外繰入金を取りやめとするとともに、保険税率の引き上げを行った。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
法定外の一般会計繰入金のうち、赤字補填目的の繰入金額	2 億 1,333 万円 削減	6,667 万円 削減	0 円			1 億 7,500 万円削減 (5 年間)

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	7 市有財産の利活用と適正化
取組内容	・市有財産の管理区分（行政財産・普通財産）を明確にし、活用状況を精査する。 ・行政財産について調査を行い、①引き続き使用、②用途廃止、③貸付等に調査のうえ選別していく。 ・未活用市有財産について、処分、貸付等をさらに進める。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
市有財産の管理区分を明確にし、活用状況を精査する。						
行政財産について調査・選別を行う。						
未活用市有財産について、処分、貸付等を進める。						
令和 5 年度取組予定						
・ 市有財産の管理区分を明確にし、活用状況を精査する。 ・ 行政財産について調査・選別を行う。 ・ 未活用市有財産について、処分、貸付等を進める。						
令和 5 年度取組実績						
・ 未活用市有財産（浅田平子二丁目 320）の処分を行った ・ 市有財産の管理区分について一部調査を実施し、活用状況を精査した。 ・ 市有財産（土地）を調査し、管理区分（行政財産、普通財産）の振分を実施した。 ・ 行政財産（借地）の調査・選別を行った。 ・ 土木管理課所管用地を調査し、未利用地の用途廃止の可否検討を実施した。 ・ 未活用市有財産（土木管理課所管道水路用地）について、用途廃止し、5 件（3,496,537 円）の払下げを実施した						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
市有財産の管理区分を明確化	調査中	調査中	調査中			固定資産台帳の更新
未活用市有財産の一覧表	調査中	調査中	調査中			一覧表の作成及び公開

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針1 行政資源の最適化による行政基盤の強化
取組項目	8 個別施設計画の策定と公共施設等総合管理計画の見直し
取組内容	・各施設・インフラの現状と、長寿命化を目的とした修繕計画として個別施設計画を策定した上で、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。 ・計画の見直しにより、計画的な修繕を実現するとともに、財政負担の平準化に努める。 ・固定資産台帳の情報を基に、施設情報を一元的に管理する。

達成工程	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
公共施設等総合管理計画の見直しを行う。						
固定資産台帳の情報を基に、施設情報を一元管理する。						
計画的な修繕を実施する。						
令和5年度取組予定						
固定資産台帳の情報を基に施設情報を一元管理し、個別施設計画及び公共施設等総合管理計画の修繕計画を随時更新する。						
令和5年度取組実績						
固定資産台帳の情報を基に、施設情報を一元管理し、修繕計画を随時更新した。						
達成指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
個別施設計画	策定	-	-			策定
公共施設等総合管理計画	見直し	-	-			見直し
施設情報一元管理	全施設一元管理	全施設一元管理	全施設一元管理			全施設一元管理

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	9 部署を横断する事業の連携（1）プロジェクトチームの活用
取組内容	・プロジェクトチームの設置やワーキンググループの活用により、部署を横断した連携を円滑に実施する。 ・連携の実施ができるように組織体制を整える。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
プロジェクトチームの位置づけの整理						
プロジェクトチームの周知・順次設置						
令和 5 年度取組予定						
・プロジェクトチームのさらなる活用を図るには、職員への意識付けが重要であるため、令和 4 年度に引き続き周知啓発を行っていく。						
令和 5 年度取組実績						
・長時間労働の解消や業務量の平準化、市民サービスの向上等を目的として「日進市職員の相互応援体制に関する実施要領」（令和 5 年 6 月 7 日施行）を策定し、臨時・緊急的な業務や大規模イベント等全庁的な協力体制が必要な場合における運用ルールを構築した。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
プロジェクトチームの設置	1	2	5			新たに 4 組以上

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	9 部署を横断する事業の連携（2）横断的な検査業務の実施
取組内容	・ 契約検査担当課以外の技師が補助的に検査業務を行う。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
適宜研修						
試行						
検査ガイドライン、成績評定の 見直し						
本格実施						
令和 5 年度取組予定						
・ 令和 5 年度においても、他課の技師に検査補助員として、多くの検査業務に関わってもら う。また、昨年度に変更した成績評定について、検査補助員の意見等を基に、必要に応じ て見直しを行う。						
令和 5 年度取組実績						
・ 契約金額 5 0 0 万円未満の工事等の検査の際に検査補助員を任命できる制度の理解が一 昨年度より広まり、検査補助員の検査に対する理解や意識が高まってきたことで、今まで 検査担当課が実施していた検査を他課の技師が実施した一人あたりの件数が、2. 9 0 件 と昨年度よりの増加となった。また、成績評定についても、検査補助員の意見等を基に見直 しを実施した。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
検査担当課が実施する 検査に他課の技師が携 わった件数	1. 73 件	2. 83 件	2. 90 件			一人当た り 2 件以 上

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	10 多様性を受容する人材の育成と組織づくり
取組内容	・柔軟な働き方の推進 例）育休等取得のための面談、全職員向け育児等休業制度の周知や説明会の実施、テレワーク、時差出勤等の制度導入についての検討 ・職員のエンパワーメント 例）研修等での知識共有と意識啓発等により多彩な人材を育成する。イクボスたちからの、部下に対する意識的なプラスのメッセージ発信 ・人材マネジメントの強化 例）階層別やジェンダー等の統計での現状把握と利活用

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
関連研修の実施						
令和 5 年度取組予定						
性の多様性職員研修、男女共同参画職員研修の実施。						
令和 5 年度取組実績						
・ 係長級主査を対象に、性の多様性職員研修を実施。 ・ 男女共同参画新規採用職員研修を実施。 ・ 柔軟な働き方を進めるため、在宅勤務の本格実施、時差勤務の適用範囲の拡大、令和 6 年 7 月からのフレックスタイム制と選択的週休 3 日の導入に向け関連例規の整備を行った。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
性の多様性職員研修の理解度	58%	71%	82%			80%以上
男女共同参画職員研修の理解度	75%	86%	90%			80%以上
男性職員の育休取得率	9.1%	53.3%	100%			30%

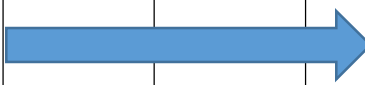
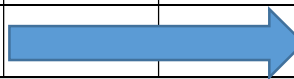
第3 次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	1 1 内部統制体制の構築
取組内容	・内部統制について、意識の共有（研修）、全庁的なリスクの洗い出し（現状把握）を行い、方針の策定に向けた検討を行う。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
研修実施による意識啓発						
財務に関するリスクの洗い出し						
方針の骨子策定						
方針策定						
令和 5 年度取組予定						
・ 内部統制制度を導入した他自治体の情報収集に努める。体制の構築に向けて、内部研修を実施する。						
令和 5 年度取組実績						
・ 制度の理解をさらに深めるために、引き続き職員研修を実施し、職員の知識の習得と意識の向上に努めた。						
・ 事務誤りの発生を事前に防止するために、手引き・規程集の確認及び活用について職員へ周知した。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
財務に関する事務等にかかるリスクの洗い出し	-	-	-			一覧表の作成
方針の策定	-	-	-			策定し、公表する

第3 次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5 年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	1 2 若手職員と中堅職員による業務改革ミーティングの開催
取組内容	・若手グループと中堅グループから提案された業務改革案について意見交換を行い、提案内容を精査して最終的に業務改革案を庁内に展開する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
実施要領を作成し、ミーティングの実施方法について検討						
試行実施						
本格実施						
令和 5 年度取組予定						
・ 業務改革に向けた民間企業を交えたミーティングの施行実施を行う。						
令和 5 年度取組実績						
・ 連携協定締結企業のソフトバンクをアドバイザーに迎え、職員を対象として、職場や業務の課題解決につなげるワークショップを実施。課題の洗い出しを行い、全庁的に共有した。（企画政策課）						
・ ソフトバンクと連携して、ビジネスプロセス・モデルと表記法（Business Process Model and Notation、以下 BPMN）の活用による業務の見える化の手法の試行実施を行った。（人事課）						
・ デンソーと連携して、民間企業における組織の円滑な運営手法について意見交換をおこなった。（人事課）						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
意見交換の場の開催 （対面によらない方法も含む）	0 回	0 回	4 回			年に 3 回
全庁的に共有できた業務改革の件数	0 件	0 件	6 件			5 件

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	13 企業への人材派遣
取組内容	・市内事業所や連携協定を結んでいる企業等へ市職員の派遣を行う。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
本市に必要なスキル等について研究し、派遣目的を定める						
受け入れ先を検討する						
派遣する						
外部機関と交流する機会を設定する						
令和 5 年度取組予定						
・ 民間企業職員との意見交換会等を実施する。						
令和 5 年度取組実績						
・ 民間企業との交流の機会として、ソフトバンク、デンソー、大塚製薬の 3 社と働き方改革や業務改善の分野で交流し、意見交換を行った。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
企業への職員派遣数	0 人	0 人	0 人			1 人

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

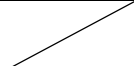
基本視点	1 持続可能な行政経営
基本方針	基本方針2 人材育成と組織力の強化
取組項目	14 庁内全体で時間外削減
取組内容	・恒常的に時間外勤務がある課において、時間外勤務の原因となっている事務のうち、期間を限定して他課の職員に依頼できる事務の洗い出しを行う。 ・依頼できる事務があった場合、部局間で調整し、事務の協力依頼をする。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
時間外勤務実績の分析など、現状を把握する						
部局間調整について実施方法を検討し、試行的に実施する						
本格運用						
令和 5 年度取組予定						
・ 他の部局からの応援職員制度の仕組みを構築し、担当職員の負担軽減を図る。 ・ 時差勤務を導入し、夜間等の実施事業を行う職員の 1 日業務時間削減を図る。						
令和 5 年度取組実績						
・ 長時間労働の解消や業務量の平準化、市民サービスの向上等を目的として「日進市職員の相互応援体制に関する実施要領」（令和 5 年 6 月 7 日施行）を策定し、臨時・緊急的な業務や大規模イベント等全庁的な協力体制が必要な場合における運用ルールを構築し、令和 5 年度には 5 件の申請があった。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
超過勤務が 1 年につき 3 6 0 時間を超える職員数	23 人	26 人	14 人			0 人

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針3 それぞれの特性を生かした市民とのまちづくり
取組項目	15 地域学校協働本部の活動推進
取組内容	・ 多様化する学校の活動に地域の人材を生かした支援を行う。 ・ 地域学校協働本部に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を設置し、地域と学校を結ぶ仕組みを構築する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
地域学校協働本部を立ち上げ、推進員を配置する。					
本部間での連携、情報共有に向け、定期的な連絡会を開催する。					
継続的な活動に向け、市内各種組織との連携を進められるよう支援する。					
令和 5 年度取組予定					
・ 市内 4 中学校の地域学校協働本部に配置している地域学校協働活動推進員との連携により、学校環境の整備に加え、地域住民による学習活動や職業体験等の学校外活動の支援など、地域の人材を生かした活動への取り組みを進める。					
令和 5 年度取組実績					
・ 市内 4 中学校に設置した地域学校協働本部それぞれに配置している地域学校協働活動推進員が、地域と学校の連携を進めることで、学校環境整備や学習活動を地域で支援する体制づくりを支援した。					
・ 地域学校協働活動の充実のためには地域で活動している団体の協力が必要であるため、社会福祉協議会ボランティアセンターやにぎわい交流館と連携し、登録団体への協力依頼や広報での活動周知を行った。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
地域学校協働本部の設置	4 か所	4 か所	4 か所			4 か所
連携組織数		2	2			10

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針3 それぞれの特性を生かした市民とのまちづくり
取組項目	16 市民参加型行政評価の実施
取組内容	・現在の外部評価の在り方を見直し、市民からの意見が十分に反映されるような方法を検討する。 例1）外部評価をオンライン動画配信サービス等で公表し、無作為抽出した市民へ外部評価に関するアンケートを送付の上、評価を行ってもらう。 例2）無作為抽出した市民や、地域経営を専攻する学生等からなるワーキンググループを設置し、委員とは別に評価を行う。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
事例調査・研究、方針の決定					
試行実施					
本格実施					
令和 5 年度取組予定					
市民意識調査の結果を踏まえて選ばれた事業について、外部評価を実施する。					
令和 5 年度取組実績					
・ 市民意識調査の結果を踏まえ、「満足・重要だと感じている人の割合」が①2 回連続で満足度が下がっている②直近の重要度が 65%以上である事項を、外部評価の対象とした。 ・ 大学連携事業として、市内の大学から市の事業について S D G s の推進と課題解決に向けた事業提案を受け、実施した。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
市民参加による外部評価	-	-	1			開催
市民参加型行政評価に関わる市民の数	-	-	-			50 人

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針3 それぞれの特性を生かした市民とのまちづくり
取組項目	17 職員による地域活動への参画
取組内容	・若手職員を研修の一環として地域コミュニティ活動へ派遣し、地域との関係づくりに関わりとともに、地域の活性化に貢献する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
研修内容を検討する						
試行的に実施						
本格実施						
令和 5 年度取組予定						
研修内容と実施に向けた検討を引き続き行う。						
令和 5 年度取組実績						
・ 地域の実状をつぶさに感じてもらうことが行政職として今後の糧になることから、具体的に入庁して間もない新規採用職員を対象に、地域コミュニティ活動について学べる研修を実施することが望ましいという結論に至った。 ・ 研修については、市政を行う上で市と地域との連携が大切であることを知っていただくことを目的に、市が区長に委託する区長委任事務を通して、区や区長に協力いただいている内容や地域の声である「区長要望」の実例をもとに市と地域との連携事例を知っていただく内容が学べるとよいと考えた。 ・ 住みよい地域づくりに向けての取り組みを知っていただく機会として、毎年 1 回研修を実施していけるよう令和 6 年度以降、より具体的に研修内容を検討していく。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
地域に関わる研修の開催	-	-	-			1 回／年

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針3 それぞれの特性を生かした市民とのまちづくり
取組項目	18 市民自治活動等におけるふるさと納税（寄附）の活用
取組内容	・市民自治活動等におけるふるさと納税などの寄附活用

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
対象となる事業の洗い出しを行い、団体の意向を確認					
ふるさと納税所管課との調整					
企画提案					
令和 5 年度取組予定					
前年度に引き続きにぎわい交流館登録団体アンケートで、意向調査を行う。					
令和 5 年度取組実績					
・ 令和 4 年度のアンケート結果をふまえ、にぎわい交流館登録団体アンケートにて、登録団体の課題は何かを把握した。約 5 割の団体が会員拡大や世代交代など人的な課題があるとの回答の中、金銭面が課題と回答した団体は約 1 割であった。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
ふるさと納税（寄附）を活用した企画の提案	-	-	-			2 つ
ふるさと納税（寄附）を活用した企画の実行	-	-	-			1 つ

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針3 それぞれの特性を生かした市民とのまちづくり
取組項目	19 市内つながるプロジェクトの実施
取組内容	・個人や団体の活動を一覧で確認できるようにする。 ・にぎわい交流館等と連携し、NPOや民間企業、個人を繋げる。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
各種登録団体の整理・統合についての検討						
各種施設ごとの公開する情報の整理						
各種施設ごとのホームページの更新						
令和 5 年度取組予定						
各種施設で登録されている団体情報それぞれのページに、引き続き相互リンクを掲載する。						
令和 5 年度取組実績						
にぎわい交流館登録団体、まちかどネットワーク、日進市社会福祉協議会ボランティア登録団体について、各ページに相互リンクを掲載した。 （にぎわい交流館） https://shimin-kouryu.net/org/ （まちかどネットワーク） https://www.city.nisshin.lg.jp/department/gakusyukyoiku/shogai_gakushu/7/2/2/2612.html （日進市社会福祉協議会） https://nisshin-shakyo.or.jp/service/volunteer-center/						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
市内の個人、団体等の活動を紹介する活動ブック	相互リンク及びにぎわい団体帖の作成	引き続き相互リンク及びにぎわい団体帖の作成を行った	引き続き相互リンク及びにぎわい団体帖の作成を行った			作成及び公開

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	20 官民連携ガイドラインの策定と新たな手法の導入
取組内容	・官民連携にかかるガイドライン等を策定し、市が取り組んでいくべき方針を示す。 ・現在の連携事業を整理し、分野ごとの連携や新たな手法による連携の効果を試算・検証する。 ・庁内外に向けて官民連携の重要性を周知・啓発することで促進を図る。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
ガイドライン骨子の策定					
ガイドラインの策定					
ガイドラインに基づく事業の整理					
官民連携事業の実施（新たな手法も含む）					
令和 5 年度取組予定					
策定された公民連携ガイドラインを基に、企業とのさらなる連携を図る。					
令和 5 年度取組実績					
・ 公民連携ガイドラインをホームページに掲載、職員へ通知し、庁内外へ周知した。 ・ 各担当課が抱える課題をまとめたコネクトノートを企業に提供し、課題解決に努めた。 ・ 新たな連携を検証した結果、包括連携協定を結ぶ企業と市民活動団体がつながり、地域の課題解決に努めた。					

達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
官民連携ガイドライン	骨子策定	策定	-			策定
連携協定に基づく実施事業数	77	93	111			95 件

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	2 1 民間事業者の地域貢献活動の活用による子育て環境の充実
取組内容	・民間企業のCSR事業等の地域貢献活動を活用し、保育・子育て環境の充実を図る。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
地域貢献活動を活用した保育・子育て環境の充実に向けての検討・調査・実施						
子育て支援等の官民連携に関する提案実施要領により事業実施に向けて検討・調査						
令和 5 年度取組予定						
株式会社ヤクルト東海、株式会社イトーヨーカ堂及び株式会社セブン＆アイ・クリエイトリンク（プライムツリー赤池）との地域活性化包括連携協定に基づく「子育て応援寄付」付き自動販売機の売上金の一部をおもちゃ等に代え、市内子育て関係施設に対し、寄付物品としていただく（冬ごろ授与イベント予定）。						
令和 5 年度取組実績						
・株式会社ヤクルト東海、株式会社イトーヨーカ堂及び株式会社セブン＆アイ・クリエイトリンク（プライムツリー赤池）との地域活性化包括連携協定に基づく「子育て応援寄付」付き自動販売機の売上金の一部を、公立保育園 10 園に絵本 15 冊ずつ寄付していただいた。 ・12月7日に寄附受領式を開催した。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
民間企業の地域貢献活動と連携した事項	1	1	1			5 項目

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	22 民間事業者を活用した魅力ある観光商品の造成
取組内容	・地域資源の掘り起こしと磨き上げの継続 ・地域資源同士の繋ぎ合わせ ・販路の拡大 ・日進市商工会が地域特産品の掘り起こし事業として実施している「日進セレクト普及推進事業(自慢の逸品事業)」との棲み分けや、統合についても検討する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
民間事業者との繋がりづくり、地域資源の掘り起こし					
観光商品の企画立案					
観光商品の造成・磨き上げ					
令和 5 年度取組予定					
民間事業者との繋がりや地域資源の掘り起こしにより、観光商品の企画立案及び造成を実施。また、既存観光商品に関しては、継続して実施・販売ができるようサポートしていく。					
令和 5 年度取組実績					
1. 愛知学院大学でのプロジェクションマッピング及び物販事業					
2. ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会					
3. 愛知県誘客促進企画「冷やし旅」					
・ マスプロ美術館：明治の浮世絵で遊んで、学ぼう					
・ 愛知牧場：本格ＢＢＱ×国産花火体験					
・ 岩崎城：城主気分で花火鑑賞					
4. 日進の地酒「果流純米吟醸夢吟香」告知による販売サポート（まちのたね）					
5. デジタルスタンプラリー					
6. 本市 6 次産業化支援事業補助金を活用し、以下の 6 次産業化商品を開発					
・ 米粉が入ったキューブパン 4 種					
・ 米粉・米油・豆乳のマフィン 4 種					
・ 味飯 3 種（日進産のお米を使用）					
・ マロンプリン					
・ マロンチーズケーキ					
・ いちごのおはぎ					
・ ライスコロッケ					

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

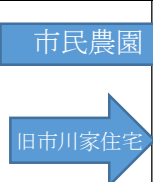
7. 日進のブランド米「こはるもち」を活用し、以下の6次産業化商品を展開

- ・ たっぷりだれのしょうゆ餅@亀屋芳広
- ・ 赤飯、栗おこわ@槌屋製菓舗
- ・ 生菓子「こはるもち」@菓宗庵

達成指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
観光商品の造成	9	12	17			3つ以上

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	23 官民連携手法による公共施設等の運営の推進
取組内容	・現在、本市が運営する施設等について、指定管理者制度の導入や民営化など、官民連携手法を用いたより効果的な運営方法がないか検討し、本計画期間内の移行を目指す。

達成工程	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
運営方法の調査・研究（保育園については、民営化に向けた計画の見直し・準備も含む）					
運営方法の決定と移行に伴う調整					
保育施設の運営・整備に関する計画に基づき、定員管理を行う					
令和5年度取組予定					
令和6年度入園受付にて定員調整を行う。公立保育園の民営化に向けた調査・研究を行い、保育施設の運営・整備に関する計画見直しの準備を行う。					
令和5年度取組実績					
・市民農園の民間移行方針を決定し、条例改正手続き（市民農園（6園の廃止））、利用者対応、民間事業者への引継ぎを行った。（市民農園） ・令和6年度入園受付にて定員調整を実施した。公立保育園の民営化に向けた調査・研究を行うとともに、令和6年度の第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に合わせ、保育施設の運営・整備に関する計画を見直すための準備を行った。（保育園） ・旧市川家住宅は令和5年度から指定管理者制度を導入し、民間能力を活用した。（旧市川家住宅） ・民間企業の施設管理のノウハウを活かし、適切な施設管理や文化施設として効果的な事業展開し、市民の文化的意識の向上に図った。また、施設管理や企画運営に係る職員の事務負担の軽減につながった。（旧市川家住宅）					

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

達成指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
官民連携手法の導入による効果の検証と導入の検討			職員の事務負担の軽減、効果的な施設運営が実施されている			効果検証の完了と導入
利用率の検証（市民農園）	87.4%	88.2%	88.2%			導入前と比較し増加
入場者数（旧市川家住宅）	3,650人	4,261人	5,818人			5,000人
園行事に対する利用者満足度（米野木台西保育園）	95.8%	98.2%	96.3%			導入前と比較し10%増加

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	24 民間事業者と連携した健康づくり事業の推進
取組内容	・市内企業に対して健康マイレージ等の健康づくり事業への参加、検診等の受診を呼びかける。 ・市内企業の要望に応じた健康づくり事業を提案し、共同実施等を検討する。 ・市内企業等に、本市が実施する健康づくり事業への協賛を依頼し、可能な範囲内で協賛品等の提供を呼びかける。 ・本市と市内企業との連携による、企業の健康経営の推進

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
市内企業に対して健康づくり事業への参加、検診等の受診を呼び掛ける。						
市内企業の要望に応じた健康づくり事業を提案し、共同実施等を計画・実施する。						
市内企業等に健康づくり事業への協賛を依頼し、協賛品等の提供を呼び掛ける。						
令和 5 年度取組予定						
市内企業に対して健康マイレージ等の健康づくり事業への参加を呼びかけ、要望を把握する。市内企業等に健康づくり事業への協賛を依頼し、協賛品等の提供を呼び掛ける。						
令和 5 年度取組実績						
・ 市内企業・事業者等にあいち健康マイレージ事業の参加及びアプリを利用していただくように呼びかけた。 ・ 協力店に加入している店舗に訪問し、あいち健康マイレージ周知のためにポスターとチャレンジシートを配布した。協力店は 53 店舗となった。（令和 6 年 3 月 31 日現在） ・ 令和 5 年度は 8 事業者から協賛品を提供していただいた。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
連携企業の開拓	3	2	0			5 社以上と連携
企業との健康づくり事業の共同実施	0	1	3			企業との共同実施事業の計画・実施（10 件）

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

市事業協賛企業の 開拓	3	5	0			市事業への協賛 品等の提供（5 件）
----------------	---	---	---	--	--	--------------------------

第3 次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5 年度＞

基本視点	2 切れ目なくつながる地域経営
基本方針	基本方針4 民間資源やノウハウの有効活用
取組項目	2 5 官民連携による地域の見守り、介護予防の推進
取組内容	・民間事業者と各種協定を締結し、各々の特性にあった地域福祉活動、介護予防活動を連携して実施する。 ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業を継続し、関係各課との連携を図る。 ・専門知識を有する社会福祉協議会、地域包括支援センター等との、一層のつながりを構築する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
民間事業者との協定締結					
民間事業者と連携した事業の実施					
「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業の継続実施					
社会福祉協議会、地域包括支援センター等とのつながりの構築					

令和5 年度取組予定

- ・民間事業者と各種協定を締結し、協定締結事業者と連携した事業を実施する。
- ・見守り協定締結事業者と認知症高齢者等の見守りに関する意見交換会を開催する。
- ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」として、南部福祉会館のおたっしやハウスにてフレイルチェックと栄養講話を開催する。また、岩崎台・香久山福祉会館で愛知学院大学の協力でアクティブシニア倶楽部を開催する。
- ・コミュニティサロン事業で包括支援センター職員による介護予防に関する相談や講話を実施する。また、ヤクルト東海の協力により健康講座を開催する。

令和5 年度取組実績

- ・認知症の出前講座において、協定締結事業者より情報提供を受け実施した。
- ・市内郵便局長、地域包括支援センターと認知症高齢者等の見守りに関する意見交換会を開催した。
- ・日本赤十字社愛知県支部と「地域の支えあいを通じた高齢者健康生活支援モデル事業」連携協定を締結し、関連企業とも連携しながら、健康つどいの場の開催やシニアの体力測定、フレイル予防ワークショップ等を実施した。
- ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」として、南部福祉会館のおたっしやハウス

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

にてフレイルチェックと栄養講話を開催した。また、岩崎台・香久山福祉会館で愛知学院大学の協力でアクティブシニア倶楽部を開催した。

- ・コミュニティサロン事業において包括支援センター職員による介護予防に関する相談や講座等を実施した。また、ヤクルト東海の協力による健康講座を開催した。
- ・高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施推進のための検討部会に参加し関係各課との連携を図った。

達成指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
協定締結事業者数	61	62	65			60事業所
関係者との連携を図る 検討会等の開催	1	1	3			1回／年
連携事業の実施	2	5	8			2事業以上

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	3 広域連携の推進
基本方針	基本方針5 自治体間連携の推進
取組項目	27 調和のとれたまちづくりの推進
取組内容	・行政界を挟んで隣接する双方の箇所で土地区画整理事業を行う際に、自治体間連携により調和のとれたまちづくりを推進する。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
近隣 4 市町による協議会の開催					
令和 5 年度取組予定					
日進市、長久手市、東郷町、豊明市の区画整理担当課により構成する尾東土地区画整理研究会に出席し、他市町との情報共有を図る。					
令和 5 年度取組実績					
・ 尾東土地区画整理研究協議会が 2 回開催され、担当者が出席し、各市町の土地区画整理事業の情報共有を図った。					

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	3 広域連携の推進
基本方針	基本方針5 自治体間連携の推進
取組項目	28 県内自治体との汚水処理事業に係る広域化・共同化の推進
取組内容 (プラン掲載)	・同様な課題を持つ自治体により、広域化・共同化が可能か、また、メリットがあるのか検討し、実施を目指す。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
検討						
メリットがあるものについて 実施						
令和 5 年度取組予定						
・老朽化した管渠・マンホール点検調査等の共同化を実施する。 ・排水設備指定業者登録等事務の共同化を実施する。 ・下水道事務の共同化について検討を行う。						
令和 5 年度取組実績						
・老朽化した管渠・マンホールの点検調査業務を尾張東部の 5 市（瀬戸市、春日井市、尾張旭市、長久手市、日進市）で共同発注を行うことで、点検費用の縮減を図った。 ・排水設備指定業者登録等事務を、名古屋市を中心とした 1 5 市 5 町（名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、常滑市、江南市、大府市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、愛西市、清須市、あま市、長久手市、扶桑町、蟹江町、東浦町、武豊町、阿久比町、日進市）において共同で実施し、事務の軽減を図った。 ・排水工事オンライン申請システムの共同導入について検討したが、コストが高くメリットが無いと判断し、導入しないこととした。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
管渠・マンホール点検調査等の共同化による経費の削減	-	160 千円	148 千円			年間 100 千 円

第3次日進市経営改革プラン 推進シート（取組項目別）＜令和5年度＞

基本視点	3 広域連携の推進
基本方針	基本方針5 自治体間連携の推進
取組項目	29 自治体間連携のさらなる深化
取組内容	・現在実施している連携事業の整理（さらなる広域展開、目的達成による廃止、統合など）。 ・エリア的に共通する課題の解決に向けた検討を行い、個別自治体の強みを広域展開することで、サービスの共有化や課題の解決を図る。

達成工程	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
現在連携している他自治体との連携事業の整理						
近接自治体の共通課題等の研究						
自治体間連携による課題の解消						
令和 5 年度取組予定						
引き続き複数のテーマについて尾三地区自治体間連携で検討し、スケールメリットがあるものや市民サービスの向上につながるものについては、実施していく。						
令和 5 年度取組実績						
・名古屋市が主催する広域ワーキンググループに出席し、参加自治体が広域連携に求めるニーズを明確にするための広域連携に関するアンケートの作成を行い実施した。 ・尾三地区連携会議において課題を抽出し、課題の解消に励んだ。						
達成指標	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	目標値
他自治体との広域的な課題解決に向けた取組数	48	51	48			52 件